

受賞理由

日本動物行動学会賞 区分(2) 動物の行動に関する新たな理論の構築あるいは既存の理論の発展

安部 淳氏

「性比と血縁選択に関する統合理論の構築と寄生蜂の性比調節を用いた実証」

安部氏は、室内および野外観察、数理モデル、分子生物学的手法を組み合わせることで、寄生蜂 *Melittobia* に見られる性比の歪みの謎を解き明かした。Hamilton が提唱した局所的配偶競争 (LMC) 理論は生存戦略や社会性の進化を理解する上で多大な影響を与えてきた一方、LMC 理論では予測できない現象も知られている。*Melittobia* における性比もその一つであり、安部氏は受賞対象論文で、メスは互いの血縁度を直接認識しておらず、個体の移動分散の有無を手がかりに性比が調節されることを示した。対象論文は1報のみであるが、応募者が長年にわたって地道に積み上げてきた野外調査に加え、異なる視点から問題に巧みにアプローチすることで達成された金字塔的成果と言える。本成果は従来の LMC 理論に個体の移動という新たな視点を付与するものであり、区分 (2) に謳われる、新たな理論の構築あるいは既存の理論の発展に寄与する研究である。